

## 10月の県内経済は、一部に持ち直しの動きが続いているものの、東日本大震災ならびに原発事故の影響などにより、全体では引き続き厳しい状況にある。

### 1. 平成23年10月の県内経済

県内経済は、一部に持ち直しの動きが続いているものの、東日本大震災や原発事故による影響などから、全体では引き続き前年を下回る水準にある。

消費動向は、大型小売店販売額（全店舗ベース）が、飲食料品や衣料品が前年を上回ったことなどから、合計で前年同月比+3.2%となった。乗用車新車販売も、昨年10月にエコカー補助金駆け込み需要の反動減がみられたことから、合計で前年同月比+31.8%となった。

生産活動は、鉱工業生産指数が前月比で△2.4%と前月を下回り、前年同月比で△7.0%と前年の水準も下回っている。また、大口電力使用量は前年同月比△12.2%と8ヵ月連続で前年を下回った。

投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額とも3ヵ月連続で前年を上回った。一方、建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月ぶりで前年を下回り、新設住宅着工戸数は、前年同月比△10.3%と2ヵ月連続で前年を下回った。

企業倒産（負債金額100万円以上）は、件数は前年と変わらなかったが、負債総額が3ヵ月ぶりで前年を上回った。雇用情勢は、雇用保険受給者実人員が前年を大きく上回るなど、厳しい状況が続いているものの、震災復旧関連の求人が引き続き増えている。

#### 〔消費動向・横ばい〕

10月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、飲食料品や衣料品が前年を上回ったことなどから、合計で186億64百万円（前年同月比+3.2%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。10月の乗用車新車販売は、普通車、小型車、軽乗用車とすべての車種が前年を上回り、合計でも14ヵ月ぶりで前年を上回った。10月の消費者物価指数は99.5となり、前月比で+0.2%、前年同月比では△0.4%となった。個別企業の販売動向をみると、10月の家電量販店は、昨年エコポイント駆け込み需要による反動減などから、前年同月を下回る売上となった。また、10月の旅行取扱額は、国外旅行が前年を上回ったものの、団体客を中心に国内旅行が前年を下回ったことから、合計でも前年比で減少した。一方、10月のホームセンターは、節電対策に関連する暖房器具などを中心に引き続き前年を上回る売上となった。

#### 〔投資動向・持ち直し〕

10月の公共工事前払保証取扱は、件数が907件（前年同月比+37.8%）、請負金額は245億15百万円（同+55.8%）、保証金額は118億36百万円（同+97.8%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。9月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が149棟（前年同月比△12.9%）、床面積が47,137㎡（同△43.6%）、工事費予定額が71億7百万円（同△59.0%）となった。10月の新設住宅着工戸数は、持家が前年を上回ったものの、貸家と分譲がともに前年を下回ったことから、合計でも729戸（前年同月比△10.3%）と2ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔生産活動・横ばい〕

9月の鉱工業生産指数は、84.3（季節調整値）で前月比△2.4%と2ヵ月ぶりに前月を下回り、原指数は90.5で前年同月比△7.0%と7ヵ月連続で前年を下回った。10月の大口電力販売量は、489百万kw/h（前年同月比△12.2%）と8ヵ月連続で前年を下回った。

〔企業倒産・横ばい〕

10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が9件で前年と変わらなかったが、負債総額が37億71百万円（同+16.1%）と3ヵ月ぶりで前年を上回った。

〔金融動向・預金、貸出金増加〕

9月の預金残高は前年同月比+11.4%と55ヵ月連続、貸出金残高は同+1.4%と5ヵ月連続でともに前年を上回った。

〔雇用動向・やや改善の動き〕

10月の新規求人倍率は、季節調整値が1.17倍（前月比△0.07ポイント）、原数値が1.28倍（前年同月比+0.39ポイント）となった。また、10月の有効求人倍率は、季節調整値が0.68倍（前月比0.00ポイント）、原数値が0.75倍（前年同月比+0.24ポイント）となった。一方、10月の雇用保険受給者実人員は18,128人となり、前年同月比で+66.9%となった。

県内経済動向の概要

	項 目	前 年 同 月 比					
		23年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	▲ 5.2	2.1	3.5	▲ 1.6	▲ 0.5	3.2
	乗用車新車登録台数	▲ 34.0	▲ 24.1	▲ 27.4	▲ 32.0	▲ 5.4	31.8
	消費者物価指数（総合）	▲ 0.9	▲ 0.6	0.3	0.5	▲ 0.2	▲ 0.4
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 35.7	▲ 37.0	▲ 38.8	22.2	31.8	55.8
	建設着工棟数（民間・非居住用）	▲ 35.3	▲ 15.1	▲ 26.5	7.9	▲ 12.9	—
	新設住宅着工戸数	▲ 39.7	▲ 42.1	▲ 19.2	59.3	▲ 22.4	▲ 10.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	▲ 13.4	▲ 7.4	▲ 9.2	▲ 7.0	▲ 7.0	—
	大口電力販売量	▲ 21.4	▲ 14.9	▲ 12.6	▲ 13.4	▲ 14.4	▲ 12.2
企業倒産	企業倒産件数 注2	240.0	57.1	▲ 53.8	0.0	▲ 54.5	0.0
	企業倒産金額 注2	0.9	38.5	86.3	▲ 26.3	▲ 72.4	16.1
金融動向	預 金	7.5	10.1	10.6	11.1	11.4	11.6
	貸 出 金	0.3	0.9	0.9	1.2	1.4	1.1
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.09	0.13	0.17	0.21	0.24	0.24
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.02	0.29	0.45	0.37	0.48	0.39

注1 原指数

注2 負債総額10百万円以上

	項 目	前 月 比					
		23年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	10.6	2.0	9.2	▲ 3.2	▲ 9.1	8.6
	乗用車新車登録台数	2.3	45.7	5.0	▲ 13.8	47.1	▲ 11.0
	消費者物価指数（総合）	▲ 0.3	▲ 0.2	0.0	0.2	▲ 0.4	0.2
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 30.5	63.9	34.2	30.4	30.3	▲ 12.2
	建設着工棟数（民間・非居住用）	▲ 21.4	62.1	5.6	63.0	▲ 8.6	—
	新設住宅着工戸数	12.5	5.1	24.6	66.8	▲ 43.2	20.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	18.9	7.8	▲ 0.2	1.0	▲ 2.4	—
	大口電力販売量	20.9	15.3	11.5	▲ 6.4	5.1	▲ 4.5
企業倒産	企業倒産件数 注2	183.2	▲ 35.3	▲ 45.5	66.7	▲ 50.0	80.0
	企業倒産金額 注2	392.8	17.8	189.7	▲ 91.5	19.7	341.1
金融動向	預 金	1.5	3.7	▲ 0.3	0.4	▲ 0.1	0.4
	貸 出 金	0.2	0.6	0.8	0.02	0.2	0.09
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.02	0.07	0.05	0.02	0.04	0.00
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.05	0.25	0.07	▲ 0.06	0.19	▲ 0.07

注1 季節調整値

注2 負債総額10百万円以上

## 2. 県内経済動向

### 消費動向

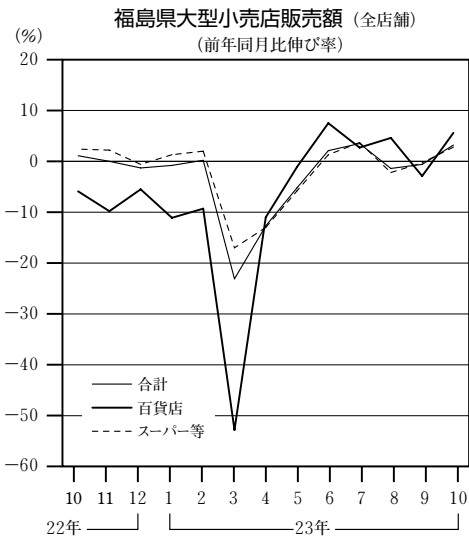
**大型小売店** 10月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、飲食料品や衣料品が前年を上回ったことなどから、合計で186億64百万円（前年同月比+3.2%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。また、既存店ベースでも、前年同月比+6.7%と前年を上回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月とともに存在した事業所の数値。）

業態別にみると、百貨店は、主力の衣料品、飲食料品とも前年を上回り、全店舗ベースの合計では29億31百万円（前年同月比+5.6%）と2ヵ月ぶりに前年比で増加した。また、既存店ベースでも前年同月比+5.6%となった。

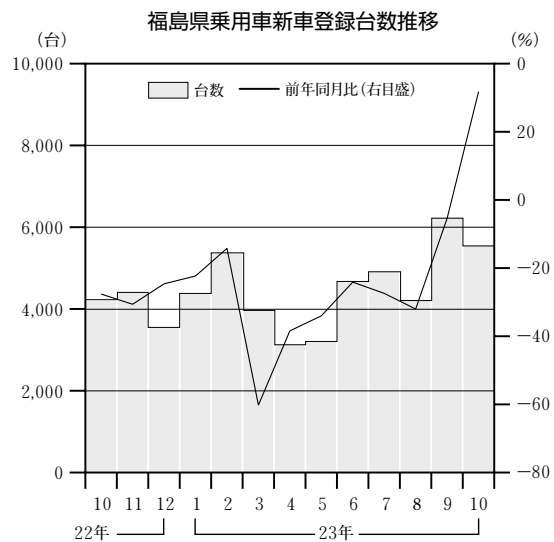
スーパーも、飲食料品、衣料品がともに前年を上回ったことなどから、全店舗ベースの合計では157億33百万円（同+2.8%）と3ヵ月ぶりで前年を上回った。また、既存店ベースでも前年同月比+6.9%となった。

**乗用車販売** 10月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,593台（前年同月比+31.8%）と昨年10月にエコカー補助金駆け込み需要の反動減がみられたことなどから、14ヵ月ぶりで前年を上回った。車種別でみると、普通車は1,667台（同+24.7%）、軽乗用車は1,877台（同+25.0%）と13ヵ月ぶり、小型車は2,049台（同+45.7%）と14ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。

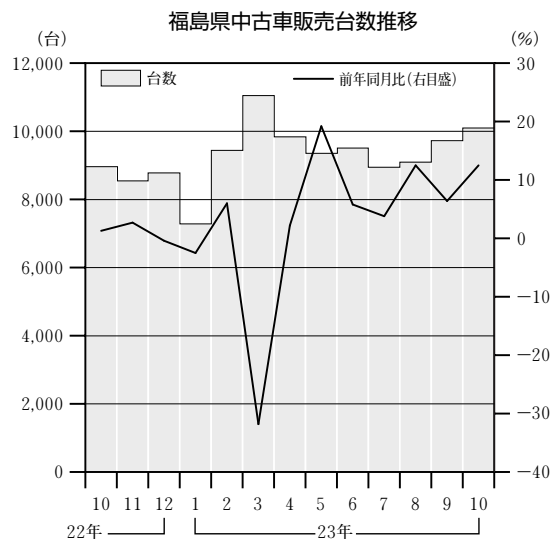
10月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で10,153台（前年同月比+12.5%）と7ヵ月連続で前年を上回った。車種別にみると普通車は3,061台（同+16.6%）と6ヵ月連続、小型車は3,802台（同+8.1%）、軽乗用車は3,290台（同+14.3%）と7ヵ月連続でそれ



(資料：経済産業省)



(資料：・日本自動車販売協会連合会福島県支部)



(注) 軽自動車は名義変更台数含む  
資料：・日本自動車販売協会連合会 福島支部  
・全国軽自動車販売協会連合会

ぞれ前年を上回った。

**消費者物価指数** 10月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）でみると、99.5と前月比で+0.2%、前年同月比では△0.4%となった。

費目別にみると、「食料」が99.7（前月比+1.0%）、「家具・家事用品」が95.1（同+0.5%）など5費目が前月比で上昇した。一方、「交通通信」が101.2（同△0.3%）、「教養娯楽」が94.2（同△0.2%）と2費目が前月比で下降した。

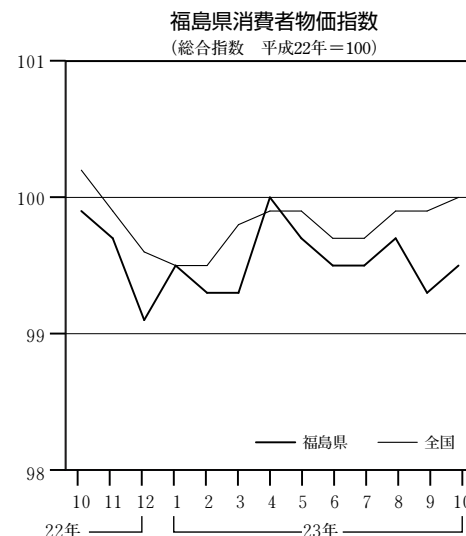
**家電量販店** 10月の家電量販店の売上高は、前年のエコポイントの駆け込み需要から、薄型テレビを中心にエコポイント対象商品に反動減がみられ、合計でも前年を3割程度下回った。

**ホームセンター** 10月のホームセンターの売上高は、節電対策として石油ストーブなどの暖房器具が大きく前年を上回ったことから、合計でも引き続き前年比で増加となった。

**旅行** 10月の旅行取扱額実績は、国外旅行が新婚旅行の増加から前年を上回ったものの、国内旅行が行政主催による県内旅行が終了した影響などから前年を下回ったため、合計でも前年比で減少した。

**高速道路** 10月の県内自動車道出入台数は、被災証明書および罹災証明書による利用料無料措置の影響が大きく、合計で7,245,606台（前年同月比+75.3%）と6ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は、4,224,322台（同+74.6%）と7ヵ月連続で前年を上回った。また、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は、597,392台（同+115.0%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は、1,131,612台（同+78.3%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,292,280台（同+61.0%）となり、それぞれ5ヵ月連続で前年を上回った。

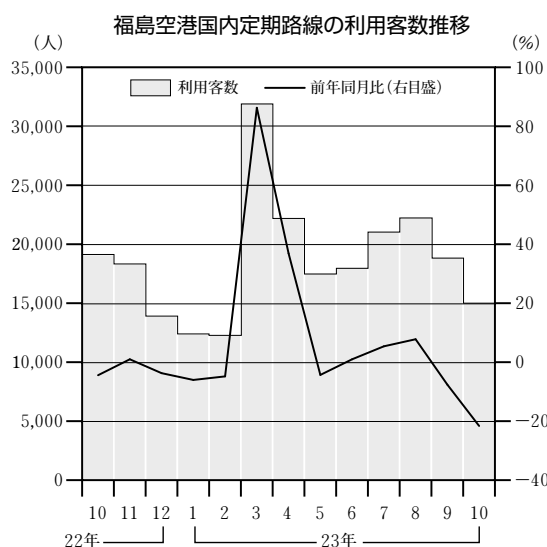
**福島空港** 10月の福島空港国内定期路線の利用



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)

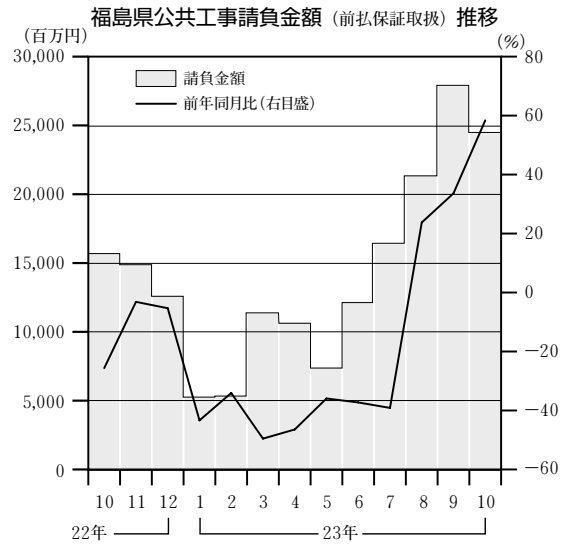
状況は、15,072人（前年同月比△21.6%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は5,481人（同△34.4%）、大阪便は9,591人（同△11.7%）となった。一方、国際定期路線については、ソウル便ならびに上海便とも、全便運休により、利用実績はなかった。

## 投資動向

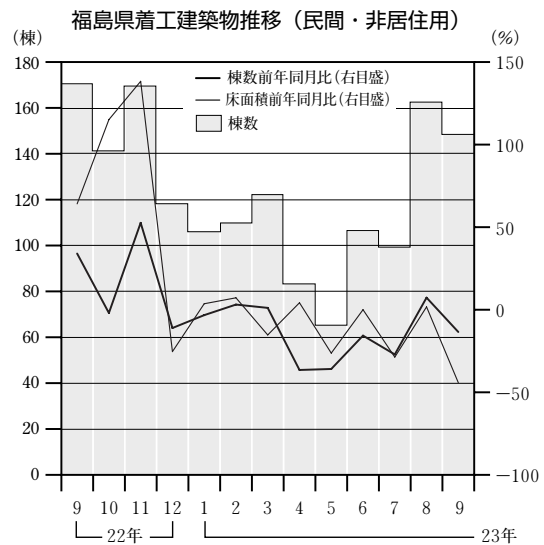
**公共工事** 10月の公共工事前払保証取扱は、件数が907件（前年同月比+37.8%）と3ヵ月連続で前年を上回った。請負金額は245億15百万円（同+55.8%）、保証金額は118億36百万円（同+97.8%）となり、それぞれ3ヵ月連続で前年を上回った。また、年度累計（2011年4月～10月）では、件数が4,071件（前年同期比+0.6%）、請負金額が1,207億55百万円（同△8.6%）、保証金額が547億94百万円（同+12.2%）となっている。10月の主な発注者別請負金額をみると、国が35億77百万円（同+45.3%）、県が83億86百万円（同+56.5%）、市町村が110億99百万円（同+64.2%）となった。

**設備投資** 9月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が149棟（前年同月比△12.9%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。また、床面積は47,137㎡（同△43.6%）、工事費予定額は71億7百万円（同△59.0%）となった。

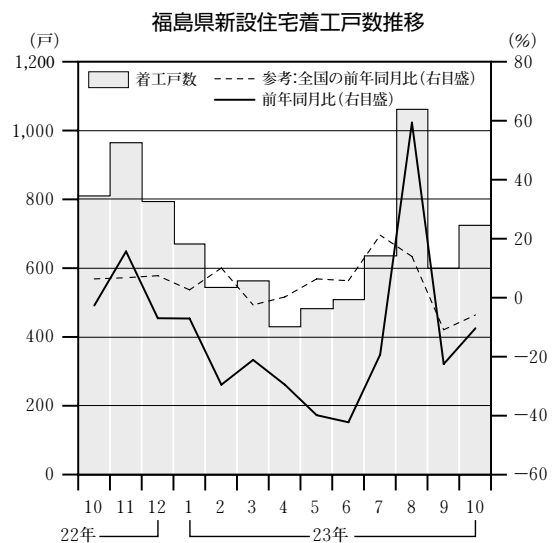
9月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、674件（前年同月比△15.0%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）は141件（同△7.2%）と2ヵ月連続で前年を下回った。4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）は533件（同△16.8%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。「構造計算適合性判定合格件数」は17件となり、前月比で5件増えた。



（資料：東日本建設業保証(株)）



（資料：国土交通省）



（資料：国土交通省）

建築物着工の先行指標である9月の建築物申請件数は、706件（同△7.5%）と2ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は153件（同+5.5%）と2ヵ月連続で前年を上回った。4号建物は553件（同△10.5%）と2ヵ月連続で前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は19件と、前月比で12件増加し、2ヵ月ぶりで前月を上回った。

**住宅建設** 10月の県内新設住宅着工戸数は、729戸（前年同月比△10.3%）と2ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は528戸（同+27.8%）と2ヵ月ぶりに前年を上回ったが、「貸家」は172戸（同△39.0%）と2ヵ月連続「分譲」は29戸（同△75.4%）と3ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。一方、マンションの着工戸数は11ヵ月連続でゼロとなった。

## —— 生産活動 ——

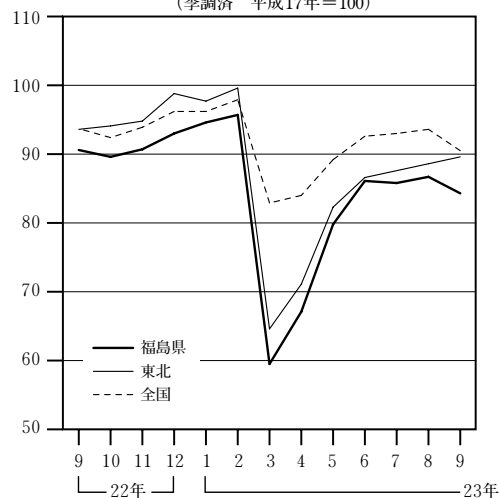
**鉱工業生産指数** 9月の鉱工業生産指数は、84.3（季節調整値）で前月比△2.4%と2ヵ月ぶりに前月を下回り、原指数は90.5で前年同月比△7.0%と7ヵ月連続で前年を下回った。

業種別の季節調整値をみると、「印刷業」（前月比+40.7%）、「木材・木製品工業」（同+18.2%）など10業種で上昇したが、「プラスチック製品工業」（同△15.5%）、「精密機械工業」（同△13.9%）など10業種で下降している。

※福島県では、調査対象企業のうち、震災の影響により調査できない約3%の企業の生産額は0として処理している。

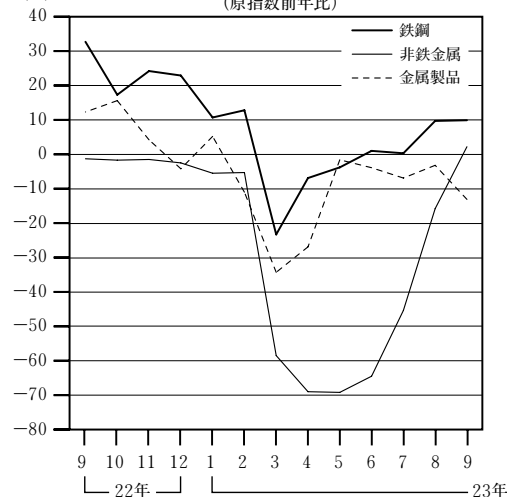
**化学** 10月の食品包装フィルム用合成樹脂の生産は、家庭用が国内需要の低迷から落ち込んだものの、業務用が中国向けを中心に増えたため、前年並みの水準を確保した。一方、バリウム化合物（電子部品原料）は、薄型テレビや自動車の減産

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）  
（季調済 平成17年=100）



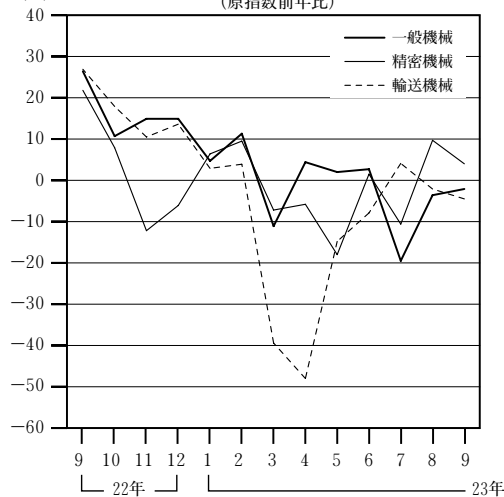
（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

による影響などから、引き続き当初計画を下回る生産水準となった。

**鉄鋼・金属** 10月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が前年を上回る生産量を確保したものの、半導体向け電子材が円高と低調な欧米経済の影響から、やや生産水準を落としたため、全体では前年をやや下回る水準となった。建機用鋳造品は、中国を中心としたアジア向けの堅調な受注を背景に前年を上回る生産を保った。また、陸船用バルブは、堅調な受注からフル生産を続けており、前年を上回る生産となった。

**輸送用機械** 10月の鋳造品は、トラック向けが中国を始めとしたアジア諸国の安定した受注を確保したため、前年を3割近く上回る生産となった。また、カーナビおよびカーオーディオ、オイルシールは、ほぼ前年並みの生産水準を保った。

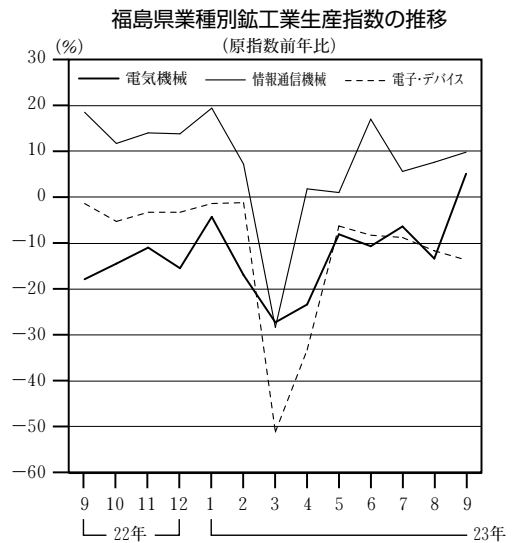
**電気機械** 10月の配電盤は、火力発電所向けの生産が引き続き好調であり、前年を上回る生産を続けた。一方、自動車モーターの生産は、自動車メーカーの生産が停滞していることから、前年を下回る水準にとどまった。

**情報通信機械** 10月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器は、アジア向けを中心に受注を確保し、ほぼ前年並みの生産となった。

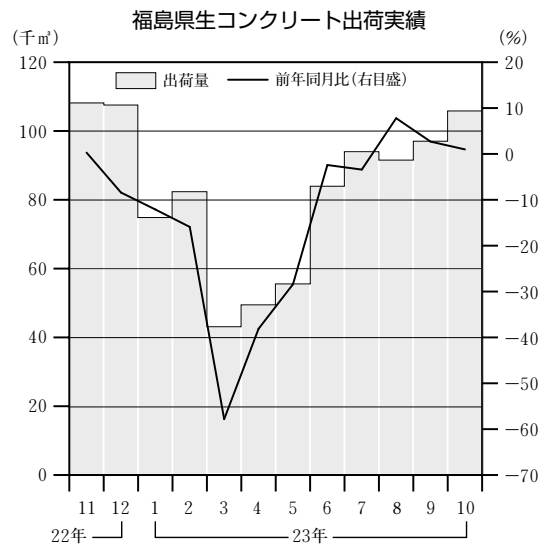
**電子部品・デバイス** 10月のLSI（大規模集積回路）の生産は、AV・ゲーム機・家電および産業機器、車載品向けの受注が円高やタイの洪水被害による影響などからそれぞれ前年を下回り、全体でも前年割れとなった。

**精密機械** 10月の医療用内視鏡の生産は、国内向け製品の受注量が回復していることから、合計では前年を1割程度上回る水準となった。一方、デジタル一眼レフカメラ用レンズの生産は、円高や欧米経済の停滞による影響などから、前年を10%ほど下回った。

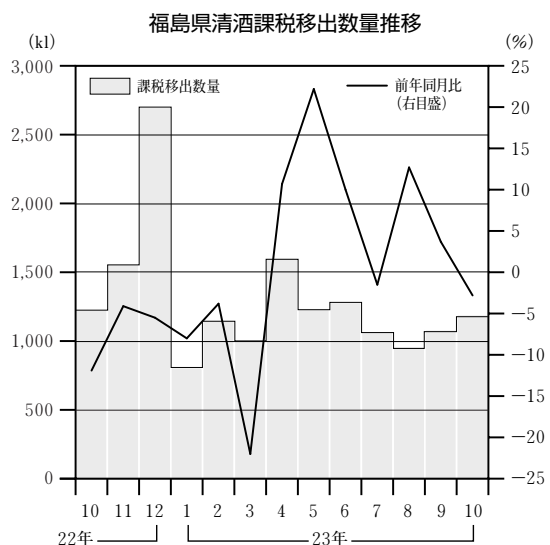
**紙・紙加工品** 10月のダンボールの生産は、一部



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)

の家電製品向けが前年を下回ったものの、全体ではほぼ前年の水準を維持している。また、ノーカーボン紙および感熱紙は、生産設備も復旧しており、前年並みの受注量を確保している。

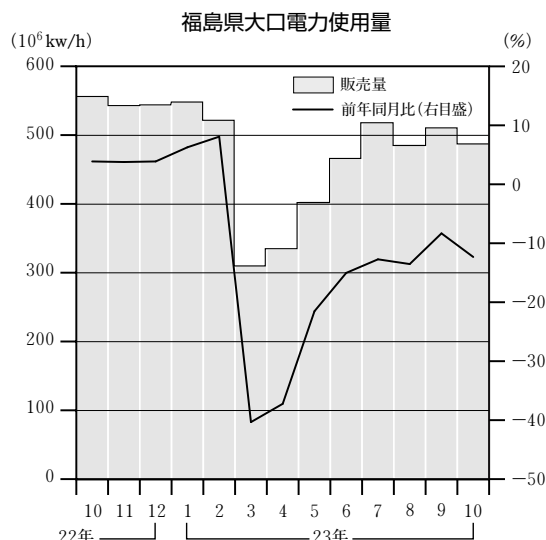
**窯業・土石** 10月の生コンクリート出荷量は、全体で106,139<sup>m</sup>（前年同月比+1.0%）と3ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、民需は、県中地区が商業施設や医療機関などの新築工事から前年を上回るなど、合計で前年同月比+20.8%となった。一方、官公需は県北地区を除く5地区が前年を下回り、合計でも同△9.5%となった。

**清酒** 10月の清酒移出数量は、1,201kl（前年同月比△2.8%）と3ヵ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が467kl（同+14.3%）と7ヵ月連続で前年を上回ったが、一般酒（特定名称酒以外の酒）は、734kl（同△11.3%）と2ヵ月連続で前年を下回った。

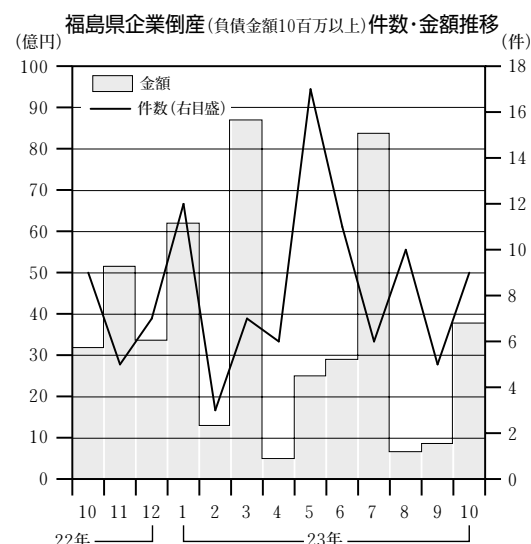
**化学繊維物** 10月のナイロンは、単価の高いダウンジャケットの表地向けの生産が堅調に推移していることから、引き続き前年を上回る生産額となった。

**ニット** 10月のニットは、秋冬物の生産が続いている一方で、一部では展示会向け春物の生産も始まっている。

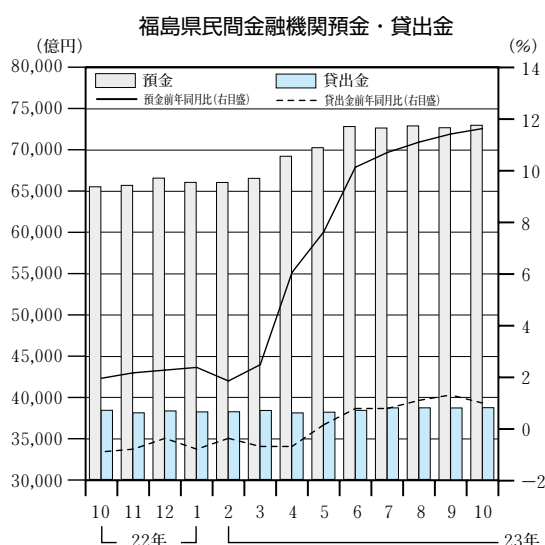
**大口電力** 10月の大口電力販売量は、489百万kw/h（前年同月比△12.2%）と8ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で99百万kw/h（同△28.4%）、「電気機械」で86百万kw/h（前年同月比△12.4%）、「輸送用機械」で59百万kw/h（同+2.8%）、「化学」で53百万kw/h（同△12.1%）、「一般機械」で26百万kw/h（同△0.4%）、「紙・パルプ」で16百万kw/h（同△15.3%）となっている。



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)



(資料：日本銀行福島支店)



—— 企業倒産 ——

**企業倒産** 10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が9件で前年同月と変わらなかったが、負債総額が37億71百万円（同+16.1%）と3ヵ月ぶりで前年を上回った。また、業種別では、建設業が3件、製造業とサービス業が2件、小売業と卸売業が1件となった。

年間累計（2011年1月～10月）でみると、倒産件数が86件（前年同期比△8.5%）、負債金額が357億89百万円（同+26.4%）となっている。

—— 金融動向 ——

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の10月末の預金残高は、7兆3,074億円（前年同月比+11.6%）と56ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆8,811億円（同+1.1%）と6ヵ月連続で前年を上回った。

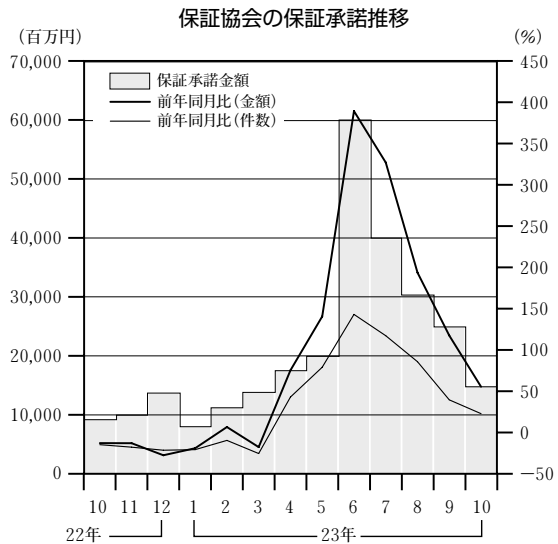
**保証協会** 10月の保証承諾は、件数が1,141件（前年同月比+24.0%）、保証金額が150億53百万円（同+56.6%）となり、震災復興関連で大幅に増加した。また、10月末日現在の保証債務残高は、件数48,286件（同+12.6%）、金額4,783億66百万円（同+38.0%）となった。一方、10月中の代位弁済は、件数が39件（同△36.1%）、金額が3億21百万円（同△54.1%）となった。

—— 雇用動向 ——

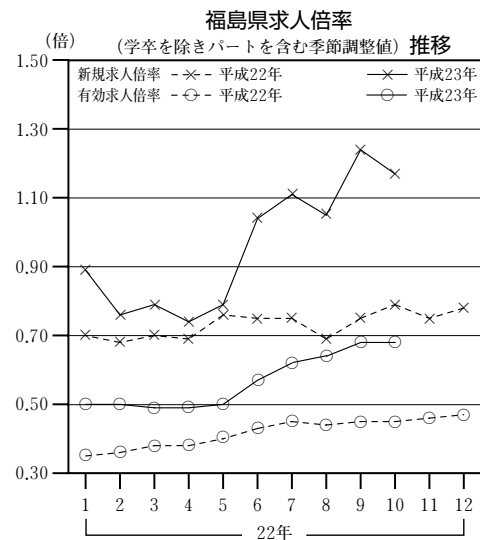
**雇用動向** 10月の新規求職申込件数（原数値）は10,620件（前年同月比△1.7%）と2ヵ月連続で減少したが、新規求人数（原数値）は13,611人（前年同月比+41.0%）と震災復旧関連により7ヵ月連続で前年を上回った。

10月の新規求人倍率は、季節調整値が1.17倍（前月比△0.07ポイント）、原数値が1.28倍（前年同月比+0.39ポイント）となった。また、10月の有効求人倍率は、季節調整値が0.68倍（前月比0.00ポイント）、原数値が0.75倍（前年同月比+0.24ポイント）となり、原数値は19ヵ月連続で上昇した。

一方、10月の雇用保険受給者実人員は18,128人となり、東日本大震災により雇用保険給付条件が緩和されたこともあるが、厳しい雇用情勢を反映して前年同月比で+66.9%となった。



(資料：福島県信用保証協会)



(資料：福島労働局職業安定部)